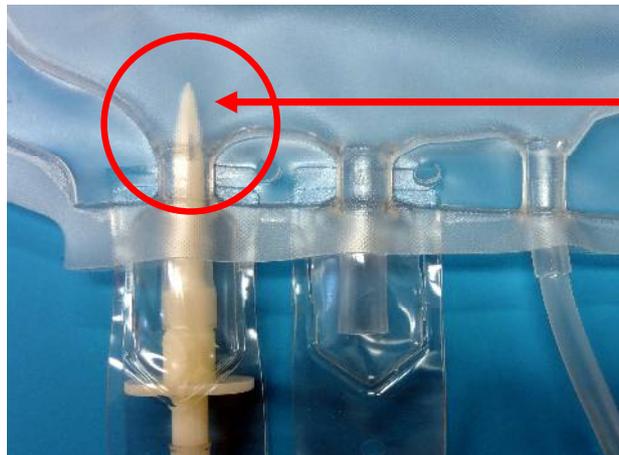


本製品へ輸血セットを接続する時の注意事項

骨髓ろ過終了後、トランスファーパック（骨髓液バッグ）と輸血セットを接続する際は、輸血セットのプラスチック針先端で輸血バッグを破損しないよう十分注意して下さい。輸血セットのプラスチック針の形状により、プラスチック針先端部が輸血バッグを内側から貫通させてしまう恐れがあります。

注意事項

- ・トランスファーパック（骨髓液バッグ）へ輸血セットの接続は水平な台上にて行い、輸血セットのプラスチック針がまっすぐ差し込まれていることを確認しながら、ゆっくりと挿入して下さい。（バッグをガートルスタンド等に吊した状態で輸血セットを接続しないでください。）
- ・複数の医師で輸注を行いお互いに確認しつつ作業を進めて下さい。
- ・輸血セットと接続したトランスファーパック（骨髓液バッグ）をガートルスタンド等へ移動する時などは、輸血バッグ及び輸血セットの接続部が曲がらないようにして下さい。
- ・輸血時はトランスファーパック（骨髓液バッグ）を揺らさないようにして下さい。特に患者様の移動時などは注意して下さい。またやむを得ず血液凝固防止のためにバッグを揉む場合は、輸血セットプラスチック針の先端がバッグに接触しないよう注意して下さい。



注意箇所

裏面に続く

施設様へのお願い

この用紙はろ過終了後骨髓液バッグへ添付し、骨髓を輸注される部署（施設）へお渡し下さい。

製造販売元／お問い合わせ



株式会社パルメディカル
東京都千代田区岩本町三丁目9番17号
TEL:03-5821-0607

【お願い】 輸血セット選定にあたって

下記のプラスチック針形状をした輸血セットは、輸血バッグ接続時プラスチック針先端が接続ポートのチューブ内に収まります。本製品を使用し輸血する際は、なるべくこれらの輸血セットをご使用下さいますようお願いいたします。

弊社で接続確認の取れているプラスチック針形状及び型番

2011年11月現在

<p>テルモ(株) 血液チャンパー一体型プラスチック針</p>  <p>型式 TB-PU300/TB-U300L/TB-U200L/TB-U800L/TB-U800B/TB-PU300L</p>	<p>テルモ(株) 一般プラスチック針</p>  <p>型式 TH-PU350L</p>
<p>テルモ(株) バッグ接続型</p>  <p>型式 BB-T040CJ/BB-T060CJ/BB-T100CJ</p>	<p>テルモ(株) 血液チャンパー一体型プラスチック針</p>  <p>型式 TB-M370LK</p>

2011年11月現在

<p>上記のプラスチック針をした輸血セット使用の場合</p>	<p>上記以外のプラスチック針をした形状の場合</p>
 <p>先端が突出しません</p>	 <p>先端がバッグ側へ突出します</p>

該当輸血セットをご使用の場合でも使用方法により、輸血バッグの破損が発生する場合がありますので、表面記載の注意事項をお守りの上、使用の際は十分にご注意下さい。

プラスチック針の形状はメーカー都合で変更になる場合がありますのでご使用前に確認して下さい。上記推奨型式以外でも同メーカーの同じ形状のプラスチック針は使用できます。使用可否が不明な場合は弊社までお問い合わせ下さい。

表面も必ず参照下さい。

施設様へのお願い

この用紙はろ過終了後骨髓液バッグへ添付し、骨髓を輸注される部署（施設）へお渡し下さい。

製造販売元／お問い合わせ



株式会社パルメディカル
東京都千代田区岩本町三丁目9番17号
TEL:03-5821-0607